

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	作品研究1	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間		授業形態	実習
教科書/教材	基本的に毎回、映像・音源資料を視聴。その他参考資料等は、必要に応じて授業中に紹介。				
担当教員情報					
担当教員	広瀬眞之		実務経験の有無・職種	有・プレイヤー、コンポーザ、プロデューサ	
学習目的					
受講学生は「最高の娯楽エンタテインメントのひとつであるポピュラーミュージック」を、その各時代の構成要素を時系列的に整理整頓し直すことによりその全体像の分析把握を可能にする。また表面に現れた音楽事象だけでなく、その社会背景への理解を深める。					
到達目標					
受講学生がポピュラーミュージックの全体像を理解把握する過程を経ることで、人間社会との密接な関係性やさらにはマーケットの変遷・動向にも意識を向けられるようにする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、なるべく多くの参考資料としての映像・音源を視聴することで具体的な授業を進める。基本的には講義形式で行うが、一方通行に終始することなく、学生個々の思考を促すために随時問いかけと返答という授業中での行動を通して、学生の積極的思考を醸成していく。				
注意点	この授業では、まずは未知の情報に対して積極的な興味を持つこと。そして講義を通して紹介解説される事象に対して各自考察・意見形成していくことに留意して欲しい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験結果による評価		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	30%	授業態度による評価		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	音楽源流の旅 1		19Cポピュラーミュージック黎明期における地歴・社会背景の基本的な理解を目指す		
2回	音楽源流の旅 2		ルーツミュージックの1「Marching(New Orleanse Jazz)」の基本的特徴と社会背景を知る		
3回	音楽源流の旅 3		ルーツミュージックの2「Gospel」の基本的特徴と社会背景を知る		
4回	音楽源流の旅 4		ルーツミュージックの3「Blues」の基本的特徴と社会背景を知る		
5回	音楽産業の発展 1～レコード産業の登場		ルーツミュージックの4「Country」の基本的特徴と社会背景を知る		
6回	音楽産業の発展 2		20C初頭の音楽シーンの社会的状況やレコード産業勃興期の時代背景の基礎的理解		
7回	音楽産業の発展 3		ニューオリンズジャズからスウィングジャズへの発展期である1920年代～30年代の把握理解		
8回	第二次世界大戦時代の音楽		「スウィングしなけりゃ意味が無い」。1930年代ビッグバンドジャズ全盛時代の音楽的特徴の基本的な把握と、世界戦争に至る社会状況の基礎的な理解		
9回	平和と変革 1		V-Disc, Hot Music...特殊な時代の特殊な音楽状況を知る		
10回	平和と変革 2～ロックンロール革命		新たな平和の時代の始まりと音楽シーンの変化の関係を知る		
11回	平和と変革 3		ロックンロール登場！その1950年代社会背景の理解と音楽スタイルの基本的把握		
12回	米ソ冷戦時代の音楽 1		利権争いの渦に翻弄されるロックンローラー達とその後		
13回	米ソ冷戦時代の音楽 2		利権争いののちの恵み。1960年代前半の社会情勢とともに把握する		
14回	米ソ冷戦時代の音楽 3～伝説のウッドストック		ベトナム戦争の影響による社会の変化と音楽シーンの基礎的な理解		
15回	アナログ黄金時代 1		Rock&Soul二大潮流の完成に至るまでの流れをまとめ、理解する		